

—総括表—		
◆ 事業計画		
☐ 地域の現状と今後の方向性		
屏風ヶ浦地区は区内でも高齢化率が比較的高い地域である。狭い道が多く戸建が中心であるが交通の便が悪い。高齢の方がケアプラザまで足を運ぶ事が難しくなっており、屏風ヶ浦地区全体で「移動」について課題がある地域とも言える。汐見台地区は社宅等がなくなった後に新しいマンションが次々建設され、地区の人口推移として年少人口、生産人口は増加している。しかし高齢者数が減る事はなく、高齢者世帯(単身)も多い為、総合相談件数も増加している。汐見台からケアプラザまでは下りの坂道となっており、ケアプラザまで足を運ぶのが難しい個別相談に対しては訪問対応を行っている。また、エレベーターの無い団地においては上層階に住む方々の高齢化に伴い、汐見台においても「移動」については課題と捉えることができる。両地区とも昔から住む世代と転入されてきた若い世代との関りについては課題を感じている様子があり、また地域活動や自治会町内会活動に若い世代の参加が少ないことから担い手不足となっている。担い手の発掘は両地区において重要なキーワードとなっている。		
☐ 今年度の重点的な取組		
新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	高齢化が進んでいる貸室登録団体が貸室を利用しての活動を継続するために必要な「福祉保健活動」の場の提供や活動支援情報を継続的に伝えていく。 また、他施設との交流を図り地域貢献活動につなげる。
☐	☒	地域アセスメントや貸室団体、事業参加者などへの積極的な働きかけや広報誌での呼びかけなどによって取り組みに必要な担い手を増やしていく。
☒	☐	認知症が特別なことではなく、役割や居場所がある地域づくりのため、チームオレンジの活動を展開し取り組みの確実な一歩として、関わる人を増やしていく。
☒	☐	汐見台3丁目に通いの場を作る 自治体と協働し、徒歩5分以内での通いの場を作る 内容については住民の負担感とニーズを考慮し持続性を持たせ決定する
☐	☒	お買い物リストの更新とAyamuの活動名称変更 前年度作成したお買い物リストの更新を行う(秋まで) Ayamuの更新で団体主体を記載し活動名で活動主体が分かるよう名称変更をする(次回更新時)
◆ 事業報告・事業実績評価		
☐ 振り返り		
☐ 区からのコメント		